

『公開ZOOMレビュー』を振り返り、ソーシャルワーカーのこれからを考える

ー 『公開ZOOMレビュー』（最終回）の総括と展望 ー

北島 英治

目 次

資料1 「ソーシャルワーク研究会便り」	(2 頁)
資料2 「ソーシャルワーク研究会公開ZOOMレビュー資料」の<目次>	(4 頁)
資料3 「ソーシャルワーク研究会公開ZOOMレビュー・ユーチューブ」の<見出し>	(1 2 頁)

ソーシャルワーク研究会便り

APRIL 19, 2020

1. 二人の会話

- A : 「ソーシャルワーク研究会って、なにをするところなの？」
B : 「さあ～」
A : 「ソーシャルワークの理論や技術を研究するとこなんじゃないの？」
B : 「ちがうよ」
A : 「え？ちがうの・・・」
B : 「だって、“ソーシャルワーク”というのは、どこにもないよ・・・」
A : 「“ソーシャルワーク論”というのが、あるじゃん」
B : 「そんなものどこにもないよ」
A : 「“その名”の<本>を見たことがあるよ」
B : 「“パイプ (P i p e)”というのは、どこにもないんだと言った人がいるんだ」
A : 「パイプって、ちゃんとあるじゃん・・・」
B : 「それは、ある国のひとが<あるもの>を見て“パイプ”と<言った>だけだよ」

2. “ソーシャルワーク”って、いったいなに？

これは、フーコーのテーマを少しアレンジしたものです。わたしたちは、グローバルな世界のなかで、今まさに歴史的に未曾有の体験を共有している真っ最中です。“この体験”は、わたしたちひとりひとり、ユニークなものなのでしょう。その見方や感じ方も千差万別なのではないでしょうか。<私>の“この体験”を、医療的に、経済的に、あるいは政治的に考え、あるいは、“不安”を感じ、電話やメールで他のひとと<語り合い>をして日々をすごしています。

フト、見るようになった新聞の<記事>から

私は毎朝、Japan Times と New York Times (International)を見てすごしています。もちろん、日本の新聞やテレビを見て、どのようにウイルスが広がって、自分はそれにかからないようにするにはどうすればよいか、といったことから、新聞を読みテレビを見ています。それだけではなく、多くのウイルスに関する“記事”の中においても、フト、目にとまる“記事”があるのに気付きました。それらを切り取ってあつめたうちの二つの記事だけですが、その一部をとりだしてみました。

(1) Thursday, March 26, 2020 (The Japan Times)

Abuse activist fear an ‘explosive cocktail’: As virus confinement measures keep families at home, fear of domestic violence rise. “As the world’s families hunker

down, there's another danger, less obvious but just as insidious, that worries advocate and officials: A potential spike in domestic violence as victims spend day and night trapped at home with their abusers, with tensions rising, nowhere to escape, limited or no access to friends or relatives – and no idea when it will end. (Jocelyn Noveck, AP)

(2) Thursday, March 12, 2020 (The New York Times International Edition)

Virus puts America's homeless at special risk: Those living on the streets are doubly vulnerable, as many have medical issues. As the head of a shelter for the homeless in San Diego, Bob McElroy know firsthand how epidemic can turn deadly for people living on the streets. Three years ago an outbreak of hepatitis A, an otherwise preventable and treatable disease, killed 20 people in San Diego County alone, most of them homeless. Now as the coronavirus spreads across the United States, Mr. McElroy is faced with a new threat, one that he can only hope to ward off with a stockpile of hand sanitizer. Under a single tent in downtown San Diego, his shelter sleeps more than 300 people most of them over 50 years old. Numbered bunk beds are spaced just two feet apart. (by Thomas Fuller)

ソーシャルワークのグローバル定義に見る

その他にも、移民や難民の人たちの記事として、**Crowded in camps, Rohingya Muslims vulnerable to virus** といったものもあります。このような記事に、目がフトむいてしまうのは、その記事の中でてくる共通の“ことば”があるからなのでしょう。それらのひとつに、“vulnerable”という“ことば”があります。その“ことば”を、『ソーシャルワークのグローバル定義』の中にも見ることができます。いや、むしろ、その『定義』の「中核となる任務について」の中に「不利な立場にある人々」や「脆弱で抑圧された人々」、つまり、社会の中の“vulnerable people”のことを知っていたから、フト、そのような“記事”に目がむくようになったのだと思います。

1900年代、世界が変わろうとしているとき、膨大なひとびとが移民として、アメリカへとわたり、ニューヨークやシカゴに住み着きました。その“新移民”と言われるひとたちは、差別や排除を受けることがあり、社会の中の“vulnerable people”でした。そのひとたちに対する慈善協会（COS）で働く友愛訪問員の活動を、リッチモンドは“サイエンティフィック・チャリティ”と呼び、その後、“ケース・ワーク（Case Work）”と<言った>のです。先に、“ソーシャル・ケースワーク”や“ソーシャルワーク”があったわけではありません。先に、“vulnerable people”がいて、そのひとたちに対する<プロとしてのプラクティス>がはじまり、それを“ソーシャルワーク”と<言った>のです。（北島英治）

資料2 「ソーシャルワーク研究会公開ZOOMレビュー資料」の<目次>

1. ソーシャルワーク研究会第1回公開ZOOMレビュー資料

2022年9月24日(土)

コンピテンシー・ベースのソーシャルワーカー教育・訓練

— *Educational Policy and Accreditation Standards (C.S.W.E.)* を振り返る—

目次

資料1 日本における社会福祉・ソーシャルワーク教育・研究の鳥瞰図(2016年6月版)
(2頁)

資料2 科目構成の考え方『社会福祉学習双書』全国社会福祉協議会、2009年
(3頁)

資料3 ソーシャルワーカー専門職養成・教育—アメリカ合衆国ソーシャルワーク学部・大学院教育を中心に—
(4頁)

資料4 全米ソーシャルワーク教育学校協議会の「教育方針」と「認可基準」(日本語訳)
(6頁)

資料5 ブレンダ・デュボワ/カーラ・マイリー著『ソーシャルワーク』(監訳者原稿から)
(14頁)

資料6 *Educational Policy and Accreditation Standards* (一部)
(19頁)

(今回の「ソーシャルワーク研究会公開ZOOMミニテイング資料」として、各種の資料と原稿をもとに作成したものです。)

2. ソーシャルワーク研究会第2回公開ZOOMレビュー資料

2022年10月22日(土)

ソーシャルワーカーによるソーシャルワーカーの為のスーパービジョン

— *Best Practice Standards in Social Work Supervision (N.A.S.W.)* を振り返る—

目次

資料1 *Best Practice Standards in Social Work Supervision (N.A.S.W., 2013)*
(2頁)

資料2 プロフェッショナル・ソーシャルワーク・スーパービジョンの定義
(4頁)

資料3	プロフェッショナル・ソーシャルワーク・スーパーバイザーの資格	(5頁)
資料4	インディビジュアル・スーパービジョン対グループ・スーパービジョン	(7頁)
資料5	YouTube によるグループ・スーパービジョンの例	(23頁)

(今回の「ソーシャルワーク研究会ZOOMレビュー資料」として、文献検索と各種の原稿をもとに作成したものです。)

3. ソーシャルワーク研究会第3回公開ZOOMレビュー資料 2022年11月26日

ソーシャルワーカーの「リサーチに裏付けられたプラクティス」と「プラクティスに裏付けられたリサーチ」を振り返る。－*Social Work Research and Evaluation* (1981) と『居宅ケアプラン』(2004年)をもとに－

目 次

資料1	全米ソーシャルワーク教育学校協議会の「教育方針2. 1. 6」	(1頁)
資料2	ソーシャルワーク・リサーチの主な文献	(3頁)
資料3	『社会福祉研究』(学界回顧と展望、ソーシャルワーク部門)をもとに	(7頁)
資料4	ソーシャルワークの「理論の発見」と「理論の検証」	(24頁)
資料5	『居宅ケアプラン』をもとに	(59頁)

(今回の「ソーシャルワーク研究会公開ZOOMミニテイング資料」として、各種の原稿をもとに作成したものです。)

4. ソーシャルワーク研究会第4回公開ZOOMレビュー資料

2022年12月24日

グローバル視点から振り返るソーシャルワーカーの実践と教育

－ I.F.S.W. と I.A.S.S.W. に見る －

目 次

資料1 ソーシャルワークのグローバル定義	(2頁)
資料2 国際ソーシャルワーカー協会 (International Federation of Social Workers (I.F.S.W.))	(3頁)
資料3 アジア・環太平洋領域の中の日本ソーシャルワーカー連盟	(4頁)
資料4 国際ソーシャルワーク学校連盟 (The International Association Of Schools Of Social Work (I.A.S.S.W.))	(5頁)
資料5 アジア・環太平洋ソーシャルワーク教育連盟 (A P A S S W E)	(6頁)
資料6 国際ソーシャルワーカー協会と国際ソーシャルワーク学校連盟 (I A S S W)) と合同のグローバル・ソーシャルワーク・ कांग्रेस (Global Social Work Congress)	(8頁)
資料7 ソーシャルワークにおける倫理原則のグローバル声明 Global Social Work Statement of Ethical Principles	(9頁)
資料8 I A S S W－ I F S W ソーシャルワーク教育・養成のためのグローバル・スタン ダード Global Standards for Social Work Education & Training	(11頁)

5. ソーシャルワーク研究会第5回公開ZOOMレビュー資料

2023年1月28日

ソーシャルワーク・トリートメントの変遷

— Francis J. Turner を紐解く —

目 次

資料1	『ソーシャルワーク・トリートメント (<i>Social Work Treatment</i>)』の出版年	(2頁)
資料2	『ソーシャルワーク・トリートメント (<i>Social Work Treatment</i>)』第3版(1986年)の「表紙」	(3頁)
資料3	『ソーシャルワーク・トリートメント (<i>Social Work Treatment</i>)』第4版(1996年)の「表紙」と「あとがき(表1)」	(4頁)
資料4	『ソーシャルワーク・トリートメント (<i>Social Work Treatment</i>)』第5版(2011年)の「表紙」、「目次」、「5つの理論的アプローチの概略」	(6頁)
資料5	『ソーシャルワーク・トリートメント (<i>Social Work Treatment</i>)』第6版(2017年)の「表紙」、「目次」、「『ソーシャルワーク・トリートメント(2017年)』(上田洋介翻訳・北島英治監訳の原稿から各理論の最初の部分抜粋)」	(18頁)
付録1	比較のための「新たなソーシャルワーク・プラクティス理論」と文献の年代	(50頁)
付録2	比較のための「オブジェクティビスト(客観主義)」と「コンストラクティビスト(構成主義)」	(52頁)

6. ソーシャルワーク研究会第6回公開ZOOMレビュー資料

2023年2月25日

ソーシャルワーカーに *Social Justice* (社会正義) がなぜ重要か？

— “*Social Justice in Social Work*” を見直す —

目 次

資料1 Online MSW Programs / Social Work / What is Social Justice?	(2頁)
付録1 ルンディ著『ソーシャルワーク、社会正義、人権：プラクティスへのストラクチャル・アプローチ』(一部)(第9回ソーシャルワーク研究会公開ZOOMミーティング資料から)	(10頁)
付録2 社会正義と人権に関するソーシャルワーク・プラクティスの主な文献(第9回ソーシャルワーク研究会公開ZOOMミーティング資料から)	(28頁)

7. ソーシャルワーク研究会第7回公開ZOOMレビュー資料

2023年3月25日

ソーシャルワーカーに “*Human Rights* (人権)” がなぜ重要か？

— “*Human Rights in Society*” を見直す —

目 次

資料1 <i>Human Rights in Society</i> (Brenda DuBois and Karla Krogsrud Miley (Eight Edition) (2014). <i>Social Work: An Empowering Profession</i> : ブレンダ・デュボア/カーラ・マイリー著『ソーシャルワーク：人々をエンパワメントする専門職』上田洋介翻訳、北島英治監訳、明石書店、2017年、172～205頁)	(2頁)
資料2 「 <i>Human Rights and Social Work</i> (人権とソーシャルワーク)」の2つの文献	(15頁)
資料3 <i>Human Rights-Based Approaches to Clinical Social Work</i>	(14頁)
資料4 <i>Social Work & Human Rights</i> に関する教育・訓練のための国際ソーシャルワーク学校連盟 (IASSW) 作成パワーポイント	(17頁)

8. ソーシャルワーク研究会第8回公開ZOOMレビュー資料
2023年4月22日

ソーシャルワーカーと人工知能（AI）

— “*Artificial Intelligence and Social Work*” に見る —

目 次

資料1 <i>Artificial Intelligence and Social Work</i> . Milind Tambe and Eric Rice (Edited by) (2018).	(2 頁)
資料2 アジア/環太平洋ジェリアトリク・ジェロントロジー国際会議での研究論文発表： <i>The Expert System for Japanese Care Management</i> (北島英治・藤林慶子)	(7 頁)
資料3 研究論文：要介護度別の居宅介護サービス3種利用決定木分析 (北島英治・藤林慶子)	(1 1 頁)

9. ソーシャルワーク研究会第9回公開ZOOMレビュー資料
2023年5月27日

ソーシャルワーカーの“プロフェッショナル・プラクティス”とは何か？

— “*NASW Practice Standards & Guidelines*” 他に見る —

目 次

資料1 ソーシャルワーク・プラクティスの発展	(2 頁)
資料2 Brenda DuBois and Karla Krogsrud Miley (2014). <i>Social Work: An Empowering Profession</i> . Pearson. (ブレンダ・デュボワ/カーラ・K・マイリー著『ソーシャルワーク：人々をエンパワメントする専門職』から)	(5 頁)
資料3 <i>NASW Practice Standards & Guidelines</i> (全米ソーシャルワーカー協会 (NASW) プラクティスのプロフェッショナル・スタンダード (専門基準) ガイドライン) に見る	(7 頁)

資料4 ソーシャルワーク・プラクティスの実例(『グローバルスタンダードにもとづくソーシャルワーク・プラクティス』(第2部第2章)(2016年)

(19頁)

10. ソーシャルワーク研究会第10回公開ZOOMレビュー資料
2023年6月24日

ソーシャルワーカーの“プロフェッショナル・プラクティス”とは何か？(続)

— “*NASW Practice Standards & Guidelines*” 他に見る —

目 次

資料1 ソーシャルワーク・プラクティスの発展

(2頁)

資料2 Brenda DuBois and Karla Krogsrud Miley (2014). *Social Work: An Empowering Profession*. Pearson. (ブレンダ・デュボワ/カーラ・K・マイリー著『ソーシャルワーク：人々をエンパワメントする専門職』から

(5頁)

資料3 *NASW Practice Standards & Guidelines* (全米ソーシャルワーカー協会(NASW)プラクティスのプロフェッショナル・スタンダード(専門基準)ガイドライン)に見る

(7頁)

資料4 ソーシャルワーク・プラクティスの実例(『グローバルスタンダードにもとづくソーシャルワーク・プラクティス』(第2部第2章)(2016年)

(19頁)

11. ソーシャルワーク研究会第11回公開ZOOMレビュー資料
2023年7月22日

ソーシャルワーカーの“プロフェッショナル教育・訓練”とは何か？
— “*CSWE Educational Policy and Accreditation*” 他に見る —

目 次

資料1 ソーシャルワーカー専門職養成・教育—アメリカ合衆国ソーシャルワーク学部・大学院教育を中心に—	(2 頁)
資料2 全米ソーシャルワーク教育学校協議会の「教育方針」と「認可基準」(日本語訳)	(4 頁)
資料3 全米ソーシャルワーカー協会 (National Association of Social Workers (NASW))	(13 頁)
資料4 ソーシャルワーク教育・訓練学校：学部・大学院 (School of social Work)	(15 頁)

資料3 「ソーシャルワーク研究会公開ZOOMレビュー・ユーチューブ」の<見出し>

公開ZOOMレビュー

第1回ソーシャルワーク研究会公開Zoomレビュー(2022年9月24日)
 コンピテンシーベースのソーシャルワーカー教育・訓練
 - Educational Policy and Accreditation Standards (C.S.W.E.) を振り返る -
 発題者: 藤林慶子 (東洋大学)
 北島英治 (元日本社会事業大学)
 司会: 堀米史一 (日白大学)

第2回ソーシャルワーク研究会公開Zoomレビュー(2022年10月22日)
 ソーシャルワーカーによるソーシャルワーカーの為のスーパービジョン
 - Best Practice Standards in Social Work Supervision (N.A.S.W) を振り返る -
 発題者: 北島英治 (元日本社会事業大学)
 司会: 堀米史一 (日白大学)

第3回ソーシャルワーク研究会公開Zoomレビュー(2022年11月26日)
 ソーシャルワーカーの「リサーチ」にまつられた「プラクティス」と「プラクティス」にまつられた「リサーチ」を振り返る - Social Work Research and Evaluation(1981)と『居宅ケアプラン』(2004年)をもとに -
 発題者: 藤林慶子 (東洋大学)
 北島英治 (元日本社会事業大学)
 司会: 堀米史一 (日白大学)

第4回ソーシャルワーク研究会公開Zoomレビュー(2022年12月24日)
 グローバル視点から振り返るソーシャルワーカーの実践と教育 - I.F.S.W.と見る I.A.S.S.W.と見る -
 発題者: 藤林慶子 (東洋大学)
 北島英治 (元日本社会事業大学)
 司会: 堀米史一 (日白大学)

第5回ソーシャルワーク研究会公開Zoomレビュー(2023年1月28日)
 ソーシャルワーク・トピックスの交差 - Francis J. Turner を紐解く -
 発題者: 藤林慶子 (東洋大学)
 北島英治 (元日本社会事業大学)
 司会: 堀米史一 (日白大学)

第6回ソーシャルワーク研究会公開Zoomレビュー(2023年2月25日)
 ソーシャルワーカーとSocial Justice(社会正義)がなぜ重要か? - "Social Justice in Social Work" を見直す -
 発題者: 北島英治 (元日本社会事業大学)
 司会: 堀米史一 (日白大学)

第7回ソーシャルワーク研究会公開Zoomレビュー(2023年3月25日)
 ソーシャルワーカーに"Human Rights(人権)"がなぜ重要か? - "Human Rights in Society" を見直す -
 発題者: 北島英治 (元日本社会事業大学)
 司会: 堀米史一 (日白大学)

socialworkpractice.net/zoomレチャートナルイ

20211105_MACS

ソーシャルワーカーと人工知能(AI)
 - "Artificial Intelligence and Social Work" に見る -
 発題者: 緑林慶子(東洋大学)
 北島英治(元日本社会事業大学)
 司会: 堀米史一(日白大学)

第8回公開Zoomレビュー資料.pdf

第9回ソーシャルワーク研究会公開Zoomレビュー(2023年5月27日)
 ソーシャルワーカーの"プロフェッショナル・プラクティス"とは何か?
 - "NASW Practice Standards & Guidelines" に見る -
 発題者: 緑林慶子(東洋大学)
 北島英治(元日本社会事業大学)
 司会: 堀米史一(日白大学)

第9回公開Zoomレビュー資料.pdf

第10回ソーシャルワーク研究会公開Zoomレビュー(2023年6月24日)
 ソーシャルワーカーの"プロフェッショナル・プラクティス"とは何か?(続)
 - "NASW Practice Standards & Guidelines" に見る -
 発題者: 緑林慶子(東洋大学)
 北島英治(元日本社会事業大学)
 司会: 堀米史一(日白大学)

第10回公開Zoomレビュー資料.pdf

第11回ソーシャルワーク研究会公開Zoomレビュー(2023年7月22日)
 ソーシャルワーカーの"プロフェッショナル教育・訓練"とは何か?
 - "CSWE Educational Policy and Accreditation" に見る -
 発題者: 緑林慶子(東洋大学)
 北島英治(元日本社会事業大学)
 司会: 堀米史一(日白大学)